

## 授業展開例（英語）

- 1 学年 中学校 第1学年
- 2 単元名 アメリカの学校から
- 3 単元について

### (1) 単元観

本単元は、アメリカやオーストラリアの時刻や天候についての対話からはじまり、次いで、主人公のデミとその友達がアメリカのある中学校のホームページにアクセスして、学校生活についてQ & Aを行うという内容である。インターネットによる海外の情報取得、特に外国の学校生活について知るという「情報教育」「異文化理解」を扱う単元である。【普遍的視点 異文化理解】

主な新出言語材料は What time...?, How's the weather....? Who...? など使用頻度の高い疑問文とその応答文である。これらの言語材料を正しく理解し、定着させることにより、お互いのコミュニケーション能力を高めることができる。

### (2) 指導観

指導に当たっては「読む・聞く・話す・書く」の活動をバランスよく取り入れるが、特にコミュニケーション活動において個人の学ぶ意欲とペアやグループでの課題解決意欲を高めるよう指導する。既習事項を繰り返し練習することで基本を定着させるとともに、新出の疑問詞ではじまる疑問文について正しく理解させ、場面や状況にあった適切な表現を自ら考えさせるような活動を行い、考える力を育成したい。【普遍的視点 コミュニケーション能力】

### 4 単元の目標

ア 様々な工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

【普遍的視点 コミュニケーション能力】

イ What time...? Who...?などの疑問詞で始まる疑問文を使って、相手に尋ねることができる。(表現の能力)

ウ 疑問詞を使って、話されたり書かれたりした文を理解し、必要な情報を得ることができる。(理解の能力)

エ 初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。(言語や文化についての知識・理解)

【普遍的視点 異文化理解】

【学習指導要領の項目 (1)イ(イ),ウ(ア),エ(イ)】

5 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・ 態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化に ついての知識 ・理解
聞くこと			聞いた内容について正しく理解することができる。	
話すこと	学習した英語を使って質問したり、答えたりしようとしている。	Who などの疑問詞を用いて相手に尋ねることができる。		時間、天候、数、長さなどを尋ねる表現を理解している。
読むこと			英語で書かれた内容について理解することができる。	
書くこと				疑問詞で始まる疑問文の構造について理解している。

6 指導計画（全6時間）

次	学習内容	評 価					
		ア 関 心	イ 表 現	ウ 理 解	エ 知 識	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>What time...? / How's the weather? の文と応答の意味,用法を理解する。</li> <li>本文の内容理解,本文の音読</li> <li>【普遍的視点 異文化理解】</li> </ul>					エ 時間や天候を尋ねる文の形,意味,用法が理解できる。  イ 時間や天候について尋ねたり,それに答えたりすることができる。	観察
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Who...? の文と応答の意味と用法を理解する。</li> <li>本文の内容理解,本文の音読</li> <li>【普遍的視点 異文化理解】</li> </ul>					エ Who...? の文と応答文の形,意味,用法が理解できる。  ウ 聞いたり読んだりした内容について正しく理解することができる。	観察 ノート
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の疑問文と新出の疑問文の形,意味,用法を理解する。</li> </ul>					エ How many...? How long..? What do you...? の疑問文の形,意味,用法を理解できる。  ウ 聞いたり読んだりした内容について正しく理解することができる。	観察 ノート
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の内容理解,本文の音読</li> <li>【普遍的視点 異文化理解】</li> </ul>						
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Unit 7 の本文全体の音読</li> <li>疑問詞で始まる疑問文とその応答文を使って身近な事柄について対話する。</li> <li>【普遍的視点 コミュニケーション能力】</li> </ul>					ア 既習の表現を使って積極的に言語活動をしようとしている。  イ 既習の疑問詞で始まる疑問文を使って場面に応じた対話をすることができる。	観察
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のまとめをする</li> </ul>					エ 本単元で学習した文法事項を理解している。	ワークブック

## 7 本時の展開（第5次）

### (1) 本時の目標

疑問詞で始まる疑問文を使って場面に応じた対話を行うことができる。  
 疑問詞を使った会話文を場面や状況にふさわしく読むことができる。

### (2) 観点別評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

これまで学んだ表現を積極的に使って言語活動をしようとする。(ア)

表現の能力

疑問詞を使って場面に応じて相手に尋ねたり答えたりすることができる。(イ)

理解の能力

聞いたり、読んだりした内容について正しく理解することができる。(ウ)

### (3) 準備物

ピクチャーカード、単語カード、音読シート

### (4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
導入 復習	1. あいさつをする 2. 単語テスト 単語カード読み	大きな声が出るように指示を工夫する。	・教科書の語彙を理解している。	小テスト
展 開	3. 前時に学習した本文を読み、復習する 4. 疑問詞を用いた質問と答え方の練習 【普遍的視点 コミュニケーション能力】 5. ワークシートへの記入。(疑問詞を選んで文を完成させる)	音読する。 ALTの発音をよく聞いて、繰り返す。 質問カードと応答カードを黒板に示し、即答させる。  正しく書けているか机間指導する。 ワークシートの答え合わせをしたあと、ALTの発音を繰り返す。 ペアで音読する。	・疑問詞(what / how / what time / which / how many / how long)を正しく使い分け、書くことができる。  ・疑問文を使って場面に応じた対話を行うことができる。	活動の観察 (座席表評価) 活動の観察  ワークシート  活動の観察

ま と め	6 . 本時の学習を振り返るとともに、次の学習への見通しを持たせる。 ・家庭学習の指示と次の時間の予告	本時の活動のよ かった点を、評価 する。		
-------------	--	----------------------------	--	--